



勝間田っ子



<http://gakuji.town.shoo.lg.jp/katsumada-es/letters-katsumada-es/>

命を守る行動を考えました。



1月16日(水)、2時間目に地震発生による避難訓練がありました。地震発生時には、児童は自分の机の下にもぐって身を守り、安全が確認できたとの放送を聞いた後、運動場に静かに素早く避難することができました。児童には、地震発生時間を知らせていなかったため、緊張感があり、よい避難訓練になったと思います。

ニュースでは、阪神大震災からちょうど30周年目に当たり、地震の教訓を風化させてはいけないと報道され、阪神大震災を知らない児童には、地震による火災も大変だったことを伝えねばと思いました。また、今後起こるであろう南海トラフ地震は、これからの30年間で発生する割合がなんと80%に引き上げられたというショッキングな報道もありました。これから生きる児童には、地震による被害の知識を伝え、心の準備だけでなく、ご家族と一緒に避難のための用具の準備を考えてもらうことが大切だと感じています。今年の勝央町の20歳の集いの記念品には防災袋があり、より身近に感じました。

実は、避難訓練の二日前、1月14日(火)の3・4時間目に、4年生の二学級でそれぞれ、東京海上日動の方を講師に迎え、防災教室を行いました。講師の方から、地震災害の起こる仕組みやその被害の様子等を教えていただき、避難する時に持ち出す防災袋に入れる用具を8つ選ぶグループ活動を行いました。たくさんある用具カードの中から、8つのカードを選ぶのは大変で、理由を言い合ったり、優先順位をつけたりして、しっかり考えることができました。スペシャルカードは、カードにないものを考えてもよいカードで、「ヘルメット」を考えているグループもありました。また、家族の写真を選んだグループもあり、避難してから心の支えになったり、行方不明になった時に活用できたりするなど、深く考えていて感心しました。防災教室では、勝央町のハザードマップも紹介していただきました。是非、ご家族でもハザードマップ等、一緒に確認していただき、避難時のことを考えてみてください。



避難時「おはしも」に注意



避難後の振り返り



防災教室で学ぶ4年生



グループ活動は白熱

給食週間が始まりました。

1月に入り、16日には、福田慶三様からいただいた紫黒米を、17日・22日には、5年生が育てたお米を給食で使わせていただきました。どちらのお米ももちりしていて、おいしかったです。全校で感謝しながらいただきました。

1月24日から給食週間が始まり、毎日一生懸命給食を作ってくださいしている給食室の先生方に感謝の気持ちを込めてお便りを書き、それぞれの学級で手渡したり、給食室に持って行ったりしました。1階のホールには、職員の思い出の給食が掲示され、児童の注目を浴びています。1年生も完食できる日が増えてきて、心も体も大きくなってきています。



5年生に感謝！ 職員給食の思い出



クジラの竜田揚げ、焼きそば、ミルメークが人気でした。



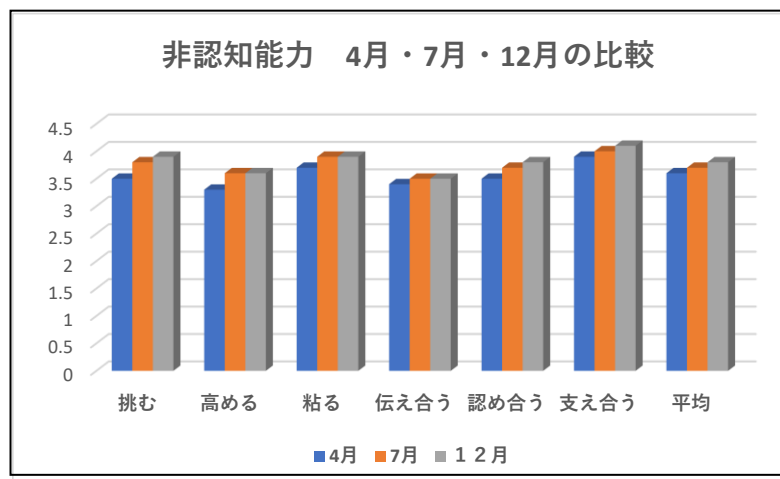
給食の先生へ感謝状 大きなしゃもじにびっくり！

第2回学校評価のご協力ありがとうございました。

11月18日からご依頼しておりました第2回の学校評価へのご回答ありがとうございました。今年から年2回の学校評価をお願いしておりますが、7月に実施した第1回のアンケートに比べても、伸びている項目が多くあり、学校としても励みになりました。今回の回収率は72.4%でした。保護者の皆様には、1月10日に既に学びポケットを通じて配信しておりますので、ご確認ください。昨年度と比較した結果は、以下のとおりです。

保護者アンケート項目	回収率72.4%	肯定的回答率	
		R5年度	R6年度
① 子どもは、学校に行くのが楽しいと言っている。		83%	86%
② 子どもは、授業が分かりやすいと言っている。		82%	87%
③ 子どもは、話したり遊んだりする友だちがいると言っている。		94%	94%
④ 子どもは、朝、家で進んでよくあいさつをする。		58%	78%
⑤ 先生は、読み・書き・計算などの基礎学力の定着のため、きめ細かい指導をしている。		88%	90%
⑥ 先生は、子どもの困ったことや悩みなどを理解し、誠実に対応するようにしている。		86%	87%
⑦ 先生は、子どもの良さや努力したことなどをしっかり認めようとしている。		93%	92%
⑧ 先生は、仲間外れやいじめなどを許さないで、一人一人を大切に作る学級づくりを心がけている。		91%	91%
⑨ 先生は、必要に応じて家庭との連絡を行っている。		91%	91%
⑩ 学校は、落ち着いた学校・学習環境づくりになるよう努力している。		91%	93%
⑪ 学校は、子どもの安全や事故防止に配慮している。		92%	93%
⑫ 学校は、人権を尊重する意識を育てている。		90%	94%
⑬ 学校は、教育方針や教育活動の様子を学校だよりや学年だより等で分かりやすく伝えている。		93%	95%
⑭ 学校は、保護者に対して誠意を持って対応したり、相談に応じたりしている。		91%	92%
⑮ 学校は、保護者や地域の人が授業や学校行事を参観する機会を設けている。		98%	97%

今年度重点で取り組んだあいさつについては、20ポイントも向上が見られました。また、学校行事への機会や学校情報の発信、人権教育の推進等でも高評価をいただきました。15項目中13項目において、昨年度同等及び昨年度以上の肯定的評価をいただきました。この評価に甘んじることなく、日々の児童の様子をよく把握し、気になることはご家庭とも連携を図りながら、児童にとってより充実した学校生活を送れるよう努めて参ります。



自己肯定感がアップ！

学期初めや学期末に集計している6つの育てたい資質能力の児童アンケート結果は、左のとおりです。2学期末には、ほぼ全ての資質能力において向上が見られました。特に、大きな学校行事が多かった2学期は、「挑む力」「認め合う力」「支え合う力」を伸ばすことができました。全校の平均値も、学期ごとに伸びてきています。各学級で分析し、3学期も頑張ります。